

研究課題 (テーマ)		富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭 2024 の開催	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者			
	教養教育センター	准教授	鈴木 浩司 (ダ・ヴィンチ祭実行委員会委員長)
研究結果の概要			
<p>未来の社会を担う子どもたち(おもに小学生を対象)に科学の面白さと正しい理解を伝えること、また、地域に根ざした県立大を一般の方々に見ていただくことを目的にダ・ヴィンチ祭 2024 を実施した。新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行して 1 年以上が経過したこともあり、コロナ禍以前のにぎわいを取り戻すために対面企画を中心に以下の通り実施した。</p> <p><実施状況></p> <p>日時は令和 6 年 8 月 3 日(土)、富山県立大学射水キャンパス構内を会場として行った。来場者数は約 1900 人で、過去最も多かったであろう令和元年の約 2100 人には及ばなかったが、昨年の約 1800 人を上回る人に来ていただいた。教員・学生等による企画出展数は、①おもしろ科学縁日(予約なしで参加できる実験・体験型イベント) 5 件、②大学探検隊(研究室を開放し、実験装置などの展示・実演) 20 件、③子ども制作教室(事前予約制の制作教室) 15 件、④その他 3 件で、合計 43 件となり、昨年の 41 件をやや上回った。それぞれの企画に参加した人数の合計は 5865 人で、昨年の 4433 人を大きく上回った。単純平均で 1 企画あたり 136 人が参加したことになる。事前予約制の制作教室は応募多数の場合は抽選となり、およそ 400 人の枠に約 1000 人の応募があった。また、コロナ禍において始まった科学や研究に関するオンライン動画の公開も行った。</p> <p><実施の成果></p> <p>来場していただいた方々(保護者)に Web アンケートをお願いしており 122 件の回答があった。来場した子どもの 79%は小学生であった。来場の目的も、「子ども自身の科学への興味」、「子どもに科学に興味を持ってほしい」という項目が合わせて 73%であり、子ども・保護者ともに科学体験に興味を持っていることが分かる。ダ・ヴィンチ祭を楽しめましたか?という設問には 97.5%が「楽しかった・興味をもった」と回答し、総じてダ・ヴィンチ祭 2024 は成功であったと言えるだろう。一方で、アンケートには様々なご意見をいただいた。それらのご意見を次年度以降の参考にしたい。特に近年の暑さ対策は課題であり、十分な検討を重ねて安全対策を施したうえで実施していく必要がある。</p>			
今後の展開			
<p>今年のダ・ヴィンチ祭の出展数、来場者数はいまだコロナ禍以前の状態を取り戻しておらず、なおかつ少子化の現状を踏まえてより多くの子どもたちに参加してもらうように積極的に広報に努める。次年度は 30 回目の節目の年であり、これまで以上により多くの子供たちに科学に親しんでもらうよう準備・実施する。</p>			